

第2章 前プラン（R3-R5）の成果と取組状況

1 プランの成果

区分	成果目標	単位	R2実績	目標（上段）			備考
				実績（下段）			
				R3	R4	R5	
プラン全体	持続可能な介護保険事業の運営	億円	649.9	699.7	715.9	733.3	介護保険事業の推計年間費用 ※目標値は予防事業の効果を見込んだ数値
				674.1	677.0	—	
[重点施策1] 自立支援、 介護予防・ 重度化防止	健康寿命 (65歳時点での 平均自立期間： お達者度)	年	男性 18.65 女性 21.57 (H29)	延伸	延伸	延伸	静岡県調査による、 市の介護認定情報等を もとに算出した、65歳 から元気で自立して 暮らせる期間
				男性 18.64 女性 21.61 (H30)	男性 18.75 女性 21.76 (R1)	男性 19.03 女性 21.99 (R2)	
[重点施策2] 在宅医療・ 介護連携の 推進	人生の最終段階 に受ける医療や ケアの希望を家 族等と共有して いる高齢者の割合	%	希望を 書き留め 話し合った (R1) 9.9	—	15.0	—	プラン策定に伴う実態 調査（全区分合計） 結果による ※R1の質問項目から 変更有
				—	話し合った 48.9	—	
[重点施策3] 認知症施策の 総合的推進	認知症サポ ーター累計人数	人	55,963	59,600	63,200	66,900	認知症サポーター養成 講座受講者数
				58,826	62,160	—	
[重点施策4] 介護サービスの 充実・ 質の向上	入所・入居系施 設新規整備床数	床	—	0	18	18	認知症対応型共同生活 介護の施設整備数
				0	18	—	
[重点施策5] サービス提供 人材確保・ 定着・育成	資格取得費用の 助成人数	人	138	260	260	260	介護職員キャリアアッ プ支援による助成人数
				152	161	—	
[重点施策6] 地域共生社会 の実現に向け た事業の推進	住民主体サービ ス実施箇所数	箇所	10	14	17	20	補助金を活用し、住民 主体サービスを実施し ている箇所数
				11	10	—	
[施策展開 における視 点] 災害や 感染症対策 に係る体制 整備	施設・事業所 (入所・通所) の事業継続計画 (BCP) の 作成割合	%	17	50	75	100	作成済施設数 ÷全施設数
				31	33	—	

【評価】令和4（2022）年度の介護給付費等の決算は677億円であり、目標値を38.9億円下回ったことから、介護予防事業に一定の効果があり、持続可能な介護保険事業の運営につながっていると考えます。

2 重点施策の取組状況

区分	取組状況	具体的な内容						
[重点施策1] 自立支援、 介護予防・ 重度化防止	高齢者が住み慣れた地域で、いきいきとした生活が送れるよう、介護予防の必要性を認識し、自分自身ができること、したいことを大切にしながら取り組める活動を支援しました。	<ul style="list-style-type: none"> ・通いの場でのフレイル予防啓発（延参加者数） （R3:3,062人、R4:4,595人）※R3～開始 ・ロコモーショントレーニング事業（実参加者数） （R2:13,142人、R3:13,426人、R4:14,052人） ・地域リハビリテーション活動支援事業（実施回数） （R2:20回、R3:28回、R4:54回） 						
[重点施策2] 在宅医療・ 介護連携の 推進	高齢者ができる限り住み慣れた地域で、自分らしい暮らしを人生の最期まで続けることができるよう、在宅医療と介護の一体的な提供体制を推進しました。	<ul style="list-style-type: none"> ・在宅医療・介護連携推進事業の推進 （多職種連携研修会・講演会回数） （R2:12回、R3:11回、R4:13回） ・ACP（アドバンス・ケア・プランニング）の普及啓発（ACP市民向け講演会回数） （R2:5回、R3:4回、R4:6回） ・在宅医療・介護連携相談センター（在宅連携センターつむぎ）の運営（延相談件数） （R2:1,397件、R3:1,322件、R4:1,258件） 						
[重点施策3] 認知症施策の 総合的推進	予防をはじめ、認知症になってもできる限り地域のよい環境で、自分らしく暮らし続けていけるよう、地域の見守り体制や専門機関による相談体制を充実させるとともに、医療と介護の連携を強化し、包括的に支援しました。	<ul style="list-style-type: none"> ・認知症の人・その家族への支援 認知症カフェ（オレンジカフェ）（設置箇所数） （R2:14箇所、R3:7箇所、R4:18箇所） ・認知症の早期発見・早期対応 認知症サポート医（累計人数） （R2:76人、R3:80人、R4:85人） 						
[重点施策4] 介護サービスの 充実・質の向上	安心して介護サービスが利用できるよう、介護施設の整備及びサービスの質の向上を図りました。	<ul style="list-style-type: none"> ・特別養護老人ホーム改築への支援 （R2:0件、R3:0件、R4:1件） ・介護事業所の育成・支援の推進 運営指導（事業所数） （R2:221事業所、R3:59事業所、R4:401事業所） ・介護給付等の適正化 ケアプラン点検（R2:53件、R3:53件、R4:57件） 						
[重点施策5] サービス提供人 材確保・定着・ 育成	介護サービスや、総合事業及びインフォーマルサービスを担う人材の確保・定着・育成に向けた取組を実施しました。	<ul style="list-style-type: none"> ・外国人人材の受け入れ環境の整備 EPA受入助成 <table border="0" style="margin-left: 20px;"> <tr> <td style="font-size: 2em;">{</td> <td>R2:1年目2法人4人</td> </tr> <tr> <td></td> <td>R3:1年目1法人2人、2年目2法人4人</td> </tr> <tr> <td></td> <td>R4:1年目2法人4人、2年目1法人2人</td> </tr> </table> ・中山間地域介護サービス事業の推進 中山間地域介護サービス利用支援事業費補助金 （R2:27,241件、R3:27,716件、R4:27,365件） 	{	R2:1年目2法人4人		R3:1年目1法人2人、2年目2法人4人		R4:1年目2法人4人、2年目1法人2人
{	R2:1年目2法人4人							
	R3:1年目1法人2人、2年目2法人4人							
	R4:1年目2法人4人、2年目1法人2人							
[重点施策6] 地域共生社会の 実現に向けた 事業の推進	高齢化の進展に伴う高齢者支援の多様化に対応できるよう、地域で支え合う体制づくりを推進するとともに、多機関多職種が連携協働して支援できる体制づくりを目指しました。	<ul style="list-style-type: none"> ・地域ケア会議の開催回数 個別ケース（R2:119回、R3:128回、R4:165回） 圏域会議（R2:47回、R3:40回、R4:56回） ・生活支援体制づくり協議体開催回数 第1層協議体（R2:3回、R3:3回、R4:3回） 第2層協議体（R2:66回、R3:48回、R4:68回） 						
[施策展開におけ る視点] 災害や感染症対策 に係る体制整備	災害や感染症発生時でも、サービス提供を継続できる体制を整備するため、平時からの事前準備を行いました。	<ul style="list-style-type: none"> ・高齢者施設や介護施設に対する施設整備補助件数 （R2:26件、R3:5件、R4:3件） ・災害・感染症発生時における訓練の実施回数 （R2:3回、R3:2回、R4:5回） 						

3 高齢者福祉施策の見直し実施状況

支援を必要とする高齢者の増加等に対応するため、これまで一定の年齢に達した高齢者に一律に交付を実施してきた市単独給付事業を、計画的に見直してきました。

見直しにより財源を確保し、より支援を必要とする高齢者への対策として、地域包括支援センターの人員体制強化、認知症予防施策（初期集中支援・認知症カフェ）、ボランティア活動の奨励、介護人材の確保に重点的に取り組みました。

No.	施策	見直し実施状況
(1)	敬老祝金・祝品の贈呈	祝金引き下げ・101歳以上の祝品廃止（H27）、祝金対象年齢及び祝品の整理（H29）
(2)	敬老会開催費補助金	対象年齢の引き上げ（～H29：75歳以上、H30：76歳以上、R1～：77歳以上）

【重点事業費と見直し効果額の比較と高齢者福祉関係事業費の推移】

令和4（2022）年度のはままつ友愛の高齢者プランにおける重点事業費は約10.0億円であり、コロナ禍で事業推進が困難な期間でありましたが、令和2（2020）年度と比較して23百万円の増となっています。

また、高齢者福祉・介護保険・医療関係事業費（高齢者1人あたり事業費）の決算額は、令和2（2020）年度以降、94,000円から95,000円の間で推移しています。

(1) 市単独給付事業の事業費

(単位：百万円)

事業区分	R2 決算	R3 決算	R4 決算	R5 当初	R4-R2 比較
①敬老祝金・祝品の贈呈	58	56	61	63	3
②敬老会開催費補助金	153	154	163	205	10
合計	211	210	224	268	13

(2) 重点事業の事業費

(単位：百万円)

事業区分	R2 決算	R3 決算	R4 決算	R5 当初	R4-R2 比較
①ロコモーショントレーニング事業	66	72	79	106	13
②ささえあいポイント事業	25	24	25	32	0
③地域包括支援センター運営事業	760	766	774	803	14
④在宅医療・介護連携推進事業	52	52	51	54	△1
⑤認知症施策推進事業	18	18	18	25	0
⑥中山間地域介護サービス充実対策事業	35	35	33	36	△2
⑦介護人材確保対策事業	12	11	11	15	△1
合計	968	978	991	1,071	23

(3) 高齢者福祉・介護保険・医療関係事業費の推移

(単位：億円)

事業区分	R2 決算	R3 決算	R4 決算	R5 当初	R4-R2 比較
①老人福祉費	24.8	22.9	25.9	22.5	1.1
②介護保険事業繰出金	94.9	97.2	98.0	108.6	3.1
③後期高齢者医療費負担金	69.4	71.6	75.6	76.1	6.2
④後期高齢者医療事業繰出金	19.0	19.5	19.9	21.6	0.9
合計	208.1	211.2	219.4	228.8	11.3
高齢者1人あたり事業費（千円）	94	94	95	94	1